

# 沖縄県平和祈念資料館だより



沖縄県平和祈念資料館の充実宣言2009 —感動する資料館活動のために—

2010年は新館開館10周年、旧館から数えると35年の節目の年です。人口の7割が戦後生まれに占められ、戦争体験者の高齢化は進み、貴重な体験そのものが消えつつある戦後65年目を迎えることとなります。そのような時節に、当館の過去と現在の諸活動の総点検を行い、また未来を展望する重要な年と位置づけ、「充実宣言2009」を掲げました。この宣言では、職員が資料館の社会的役割や存在意義を常に意識し、事業推進にあたり県民をはじめ内外の来館者のニーズに応え、その満足度を高め、感謝されることをめざすものです。さて宣言の内容は、問題解決の実現へ向けての確信と姿勢を表明した「できます(宣言)」でまとめました。

- ①来館者の目線で事業の満足度を高めるサービスができます。
- ②学校連携を重視し、平和学習の拠点施設づくりができます。
- ③情報発信力を高め、話題を常に提供することができます。
- ④事業・活動の評価を行い、より進化させた新たな魅力の創出ができます。
- ⑤運営協議会、友の会、外部機関との連携をより強化することができます。
- ⑥安らぎが得られる魅力ある平和祈念公園づくりができます。

掲げた6項目は、とりたてて、事新しいものではありませんが、その一つずつを実践し、究めるためには高い意識を持ち続け、絶えぬ努力を行う姿勢が肝要です。

これら行動指針には、具体的事項として、「めざす」目標を設けました。その一つは、次代を担う子どもを対象に館1Fの企画スペース「ひろば・ゆいまーる」を活性化すること。また二つ目に、1万冊の戦争と平和に関する蔵書を持つ「情報ライブラリー」の活用。子どもたちが家族やお友だちとともに平和について語り合い、考える場として、館が日常的に活かされ、学びができる仕組みや環境をつくりたいと考えています。

三つ目に学校や他機関との連携があります。年々の予算減少の中で、学芸員自らミ션을踏み、知恵と工夫を凝らして手づくりの企画展を創作します。このプロセスは子どもの興味・関心や理解の程度を想定し、展示を見る側の視点で考えるきっかけを与えました。子ども目線に応える展示資料は、一方で館からの貸出用キットとして、小学校の人権学習教材として活用される実績を生み、新たな学校連携として注目されます。

当館は減少し続ける沖縄戦を体験し生き残った人びとの使命を負い、「戦争の悲惨さを知ることを通して、生命と平和の尊さを学ぶ」場を提供するという社会的役割を担ってきました。また、平和を求め、文化を愛する「沖縄のこころ」を原点到、平和創造の樹立に寄与し、平和学習の拠点施設として平和文化を発信し続けてきました。2009年は今一度、設立当初の原点到に立ち帰り、来るべき10年へ向けて飛躍するためのビジョンを描きながら行動する一年にしたいと思えます。

沖縄県平和祈念資料館長 宮城智子

## 第9回

# 特別企画展の開催報告

第9回特別企画展を「カンボウ ケーヌクサーー 沖縄 戦後の混乱から復興へ」のテーマで、平成20年10月10日(金)～12月21日(日)に資料館(企画展示室)、平成21年1月16日(金)～2月24日(火)まで八重山平和祈念館(第2展示室)において開催しました。今回の企画展では、1945年からサンフランシスコ講和条約が施行された1952年までの混沌とした7年間に焦点を当て、廃墟の中から復興に立ち上がった沖縄県民の息吹とエネルギーを表現した展示会を目指しました。展示内容は、生活・行政・経済・教育など10の

テーマの中でそれぞれの復興の歩みを紹介しました。また、各テーマでもおもしろいエピソードなどをコラムという形で紹介したところ大変好評を頂きました。開催にあたり、県内多数の資料館・博物館等から貴重な資料を多数借用させていただき、戦後復興に関する展示会として充実した資料展示を行うことができました。10月10日の企画展オープニングセレモニーは、上原裕常糸満市長をはじめ大勢の出席者のなか盛大に行われました。展示資料は展示パネルも含めて315点、中には県指定文化財もありました。開催中、O T Vで放映された『戦争を笑えー命の御祝事さびらー伝説の芸人ブーテン』のビデオを放映し、沖縄戦講座を2回実施しました。企画展の図録は、当館ミュージアムショップや県内書店において販売されています。資料館での芳名録記入者は2751人でした。



## 第5回人権ラブソングコンテスト

「人権ラブソングコンテスト」は歌を通して、私達全ての人に人権があり、尊重されるという人権擁護の意識向上を目的としたコンテストです。今回は78組の応募があり、本コンテストには10組の皆さんが出場しました。出場者には親子、姉妹で出場している方々もあり、出演者と観客とが一体なったあたたかい雰囲気の中でコンテストが行われました。

上位受賞曲の4曲はCDに収録し、またグランプリ受賞曲を「合鳴用」「吹奏楽用」に楽譜化し、CDといっしょに県内小・中・高校・特別支援学校等の人権教育に活用していただくため配布しました。

受賞者と受賞曲は以下のとおりです。



### グランプリ

「友情のバズル」はやしかいおう with ローズマリー



### 準グランプリ

「だいじょうぶ」Peach Boy



### 「心のLOVEソング」

筒原真弓&愛(かな)さんず



### 審査員特別賞

「ありがとう。」詠澤彼方

優秀賞 6組 ・ Mutant ・ selfish ・ 愛〜かなさ〜 ・ aya ・ 野副一喜 ・ THUMBIND

## 夏休み子供向け企画の報告

戦争や平和、人権などについて考える機会としてもらうために8月2日、9日、16日の3日間、「夏休み子ども向け企画」として自由研究相談室、ビデオ上映会を実施しました。また、8月9日（土）の親子平和学習会には28名の参加があり、平和祈念公園内の戦跡や慰霊碑などを見学したり、実物資料に触れるなどして沖縄戦について学習しました。「実際にそれぞれの場所で話が聞けて、とても勉強になった。」「実物資料に触れることができ、実体験ができてとてもよかった。」という参加者の感想がありました。



親子平和学習会

## 博物館学芸員実習

博物館学芸員実習には4名の学生の申込みがありました。それぞれの実習生は平和祈念資料館での実習に目的意識を持ちがんばりました。今年度は、県庁1階の県民ホールで行われた「児童・生徒の平和メッセージ展」の表彰式の準備、式典参加、収蔵品展の片付け・資料整理等を体験でき有意義な実習となりました。

期 間：平成20年8月5日～13日

内 容：資料整理・分類・登録・展示準備・  
企画展への参加、野外実習、調査研究等

実習生：島根大学1名 広島市立大学1名  
国立音楽大学1名 法政大学1名



野外実習の様子

## インターンシップの報告

沖縄県教育委員会の打ち出す「キャリア教育の充実」を支援するために、高等学校の「インターンシップ」と小学校の「チャレンジデー」を受け入れました。高校生は3日間の日程で、学芸業務やライブラリー業務、また受付や警備業務などを体験しました。小学生は1日の日程で館内や収蔵庫を見学し、当館の事業内容について学びました。

- |                  |        |    |
|------------------|--------|----|
| ○7月1日（火）～3日（木）   | 糸潟高校   | 5名 |
| ○7月2日（水）～4日（金）   | 南部商業高校 | 4名 |
| ○7月8日（火）         | 坂田小学校  | 1名 |
| ○7月18日（金）～23日（水） | 豊見城南高校 | 7名 |
| ○7月22日（火）        | 古蔵小学校  | 3名 |



## 沖縄戦講座の報告

第9回企画展「カンボウヌ ケーヌクサー 沖縄 戦後の混乱から復興へ」平成20年10月10日～12月21日の期間中に関連催事として沖縄戦講座を2回開催しました。第1回の講座は、嘉納英明名城大学准教授による「沖縄の教育の歩み―戦争前と戦後を中心に―」でした。内容は戦前の沖縄での就学率の話や教育勅語、戦後の子供の教育環境について詳しく解説されました。参加者は73名でした。

第2回は、県平和祈念資料館友の会会長大城藤六氏による「カンボウヌ ケーヌクサー 沖縄 戦後の混乱から復興へ」でした。内容は、自らの体験を中心に戦前の国民学校での様子や戦後復興の状況を講話されました。参加者は65名でした。2回とも質疑応答なども活発に行われ受講者の感想は好評でした。次年度も企画展に関連した講座を予定していますので、多くの方の受講をお待ちしています。



嘉納 英明氏の講話



大城 藤六氏の講話

## 沖縄県平和祈念資料館講習会の報告

当館の案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

- 〈日 時〉平成21年2月18日(水) 13:00～16:00
- 〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 会議室
- 〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア  
観光等関係者

〈講習内容〉平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴  
〈参加者〉85名



## 平成20年度 第2回沖縄県平和祈念資料館 運営協議会報告について

今年度第2回運営協議会が3月5日(木)午後2時から4時30分まで委員11名が参加し、当館2F会議室で開催されました。会議では次年度事業計画や入館者増対策等について活発な意見が出されました。当館初の国際貢献が期待されるJICA連携の平和創造プログラムや予算のない中で職員による創意工夫の姿勢は高く評価されました。また、入館者増加対策については、ユニークな意見が出されました。市町村長へ管轄の学校入館の協力を依頼すること、館を通して平和を創造する未来志向の機運をつくること、ユニセフなど国際機関との連携を通して事業を展開することや沖縄県下の女性団体の協力をいただくことなど、多くの貴重な意見が提案されました。



## 「沖縄県平和祈念資料館事業展」 in 2008 JICA国際協力・交流フェスティバル

当館は沖縄戦をテーマとした展示会や巡回展の経験はありますが、事業そのものをテーマにした展示会は初めてです。11月8日(土)午前10時から午後6時までの1日間のみ、浦添市前田のJICA沖縄国際センターにおいて平和祈念資料館事業展を出展しました。

このフェスティバルには、地方公共団体、NPO団体、大学、高校の国際協力・交流を行うサークルや団体約30団体が参加、出展しました。当館は沖縄戦を通じた平和意識の啓発をテーマとするJICAと連携する事業を次年度から行うため、今回の参加となりました。

展示会は当館の事業全体の紹介を通して、資料館の存在意義をアピールすることが目的です。同センター本館3階の40㎡の一室が展示スペースとして割り当てられました。展示構成の方針は、子どもたちにも事業内容が理解できるよう単純化することにしました。説明文を一文で短くし、写真や図表を多く用いてビジュアルでインパクトのあるパネルづくりに努めました。さらに外国の研修生のために英語の説明も加えました。

「沖縄県平和祈念資料館ってなに?」、「何がみられるの?」、「資料はどのように保管されているの?」、「どんな事業を行っているの?」のコーナーに分け、博物館事業における展示、教育普及、調査・研究、資料収集・保存活動の4本柱を説明しました。また、これまで刊行してきた出版物、貸出用の沖縄戦写真パネル、水筒や鉄カブトなどの実物資料、当館で最も大切な住民の証言本も展示しました。来室者数約300人。シンプルな分、スタッフの補足説明が求められました。当館を知らない県民を発掘し、周知する絶好の機会になりました。次年度は受託事業の成果や展示スペース、内容とも拡充したいものにしたものです。



砲弾など実物資料と展示パネル



沖縄戦の写真パネルと証言本展示

## 沖縄県平和祈念資料館友の会活動状況

### 1. 平成20年度活動状況

#### (1) 活動状況(平成19年4月～平成20年3月)

	学校団体数(件)	生徒人数(人)	派遣ガイド人数(人)	備考
高等学校	25	4,040	25	県内外
中学校	8	1,128	8	県内外
小学校	12	5,861	12	県内外
その他	13	315	13	学校、会社
合計	46	10,036	46	

沖縄県：高等学校 2件、生徒数 748人

中学校 1件、生徒数 229人

小学校 12件、生徒数 5,861人

合計 15件、生徒数 6,838人

常設展示解説員案内人数(平成19年4月～平成20年2月)・・・のべ176人

## 平成20年度 資料貸出状況

平成20年度の貸出資料(実物資料・写真・沖縄戦の絵)は、県内10団体200点、県外11団体178点、合計21団体378点の資料を貸出しました。今年度は県外の公共団体や学校からの申請が多く、沖縄戦に対する関心度が高くなっていると思われます。今後とも県内外において当館の資料を平和学習に役立てていただきたいと思います。

# ミュージアムショップへようこそ!

当館のミュージアムショップは 2007年6月にオープンしました。

当資料館関連商品を中心に、沖縄戦に関する図書、ビデオDVDや沖縄の伝統工芸品等も販売しています。ウェブサイトで購入できる商品もあります。

今回は人気商品ベスト3をご紹介します。



## 1. 人気商品ベスト3

### Best ① 「沖縄の戦争遺跡」



沖縄県平和祈念資料館編集  
A4判変形(74頁) ¥1,200 (税込)

戦争遺跡に加え、そこから出土した遺物、沖縄戦当時の写真や現地までの案内図等を掲載。

### Best ② 「沖縄県平和祈念資料館総合案内」



沖縄県平和祈念資料館編集  
A4判(168頁) ¥1,500 (税込)  
(和英文併記)

当資料館の展示内容を解説すると共に、歴史年表等の関連資料や「平和の礎」や平和祈念公園内の関連施設の概要についても紹介。

### Best ③ 「沖縄戦の証言DVD」



沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会発行(35分) ¥3,500(税込)

小学生や中学生までも戦慄にかり出され、命を奪われた沖縄戦。1フィートの映像と戦争体験者の証言でつづる、平和への願いをこめて世界の人々へ贈る沖縄からのメッセージ。

## 2. ウェブサイトでの図書購入方法:

URL:<http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

→ミュージアムショップ情報→図書購入の流れ

## 3. 問い合わせ先: 財団法人沖縄県平和祈念財団

〒901-0333 沖縄県宇摩文仁577番地

TEL: 098-997-2765 FAX: 098-997-2767

E-mail: [heiwashop@heiwa-irei-okinawa.jp](mailto:heiwashop@heiwa-irei-okinawa.jp)

## ◆◆◆ 沖縄県平和祈念資料館入館者の声 ◆◆◆

- 展示内容も過不足なく、押しつけがましくなく、淡々と事実を展示している。
- 写真から戦争の残酷さがとても伝わり、鑑賞することで戦争の再発を防止できるといった。
- 証言ビデオを聞いているだけで戦争を体験するような感覚になり、とても重たい気持ちになった。
- 解説員の説明でガマ(洞窟)のできごとがよく理解でき、リアルに感じた。
- 修学旅行生のマナーの悪さが目についた。
- 沖縄戦の悲惨さを知らない人が多いので、全国のもっと多くの人に伝えてほしい。
- 本土の人間には基地問題がピントこないの、もっとアピールしてほしい。



# 八重山平和祈念館 ●平成20年度 事業実施状況●

## 1 夏休み平和学習会「終戦記念日に巨大折り鶴を折ろう」

●期間：平成20年7月16日(土)～8月31日(日)

夏休みの平和学習の場として、平和や人権に関する自由研究についてのテーマの決め方や資料の利用方法などの相談を受ける学習会を開催しました。

また、8月16日(土)には、終戦記念日にあわせた催しとして、平和メッセージを書き込んだ巨大折り鶴を作る等の参加型コーナーを設置し、たくさん子どもたちが、戦争マリアア犠牲者数や平和について考える日となりました。



完成した巨大折り鶴と子どもたち

## 第9回特別企画展

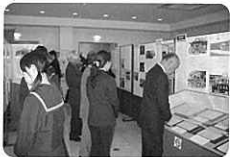
## 2 「カンボウヌ クエーヌクサーー 沖縄 戦後の混乱から復興へー」(八重山会場)

●期間：平成21年1月16日(金)～2月24日(火)

前年10月に県平和祈念資料館で開催された展示会を当祈念館においても開催しました。

八重山会場では、資料館で展示した資料のほか、八重山における戦後復興に関する資料を、昭和25(1950)年に八重山で開催された「復興博覧会」の会場に見立て、「教育館」、「星条館」、「農業館」等、様々な分野からの復興に焦点をあて展示しました。

会場には、当時を懐かしむ多くの方の姿が見られ、戦後復興に立ち上がった人々のエネルギーを感じ、平和について考える機会となりました。



熱心に観覧する資料提供者や生徒たち

## 3 第9回特別企画展のための事前調査を実施

(聞き取り調査、オグデン道路開通記念碑の拓本採りなど)

「戦後復興」をテーマにした特別企画展を開催するにあたり、当時、八重山の戦後復興にご尽力された多くの方に、聞き取り調査や資料提供等のご協力をいただきました。

また、戦後復興の一大事業であった道路開削で開通した「オグデン道路」の開通感謝記念碑の拓本を採拓し、展示することを通して当時の人びとの労苦に思いを馳せることができました。



石堂徳一氏指導による拓本採り

## 連絡先

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX：0980-88-6161

URL：<http://www.pref.okinawa.jp/yaeyama-peace-museum/>

E-mail：[yaeyamaheiwa-malaria@basil.ocn.ne.jp](mailto:yaeyamaheiwa-malaria@basil.ocn.ne.jp)

# 第19回 児童・生徒の 平和メッセージ (図画・作文・詩) 作品募集要項

## 1 募集対象

沖縄県内の小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援諸学校の児童・生徒

## 2 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名（フリガナ）、題名を必ず応募ラベルに記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙（四つ切り、38cm×54cm）を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。
- 図画には文字のメッセージは入れない。

<作文部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 小学校低学年は原稿用紙2枚程度、小学校中学年は3枚程度、小学校高学年は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出する。

<詩部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 枚数は特に指定しない。

## 3 募集期間

平成21年5月1日（金）～5月26日（火）

## 4 作品の送り先

〒901-0333 糸満市厚文に614番地1

沖縄県平和祈念資料館（電話：098-997-3844・FAX：098-997-3947）



第18回図画部門  
小学生の部最優秀賞  
高良小学校4年 上原晴美

## 平成21年度 第10回 特別企画展

### 『イクサユースワラビ ～戦時下の教育と子どもたち～』

- 1). 期間 平成21年10月10日（土）～12月13日（日）沖縄県平和祈念資料館  
平成22年1月19日（火）～2月26日（金）八重山平和祈念館
- 2). 場所 沖縄県平和祈念資料館 企画展示室  
八重山平和祈念館 第2展示室
- 3). 趣旨  
住民を巻き込み多くの犠牲者をだした悲惨な沖縄戦から64年が経過した。沖縄戦前・戦中・戦後の教育、子どもたちの置かれた境遇について、調査・研究及び聞き取り調査を実施し展示することを通して、戦時下の教育と苦難・犠牲を強いられた子どもたちの諸相への理解を深め、戦争の悲惨さや平和の尊さについて再考する契機を提供する。



## 4). 展示内容

※現在、列品資料を調査・検討中であるため仮案としての構成は次のとおり。

- ① 尋常小学校から国民学校と戦前の教育制度の変遷を示す。  
戦前の教科書、教科内容、教育助話、宮城道雄、政治・軍事的背景等
- ② 子どもたちの学業生活の変化と生活の変化。  
方言札、慰問文、体操、綴方、勤労奉仕、カルタ、絵本
- ③ 学童疎開、学徒動員、戦場での子どもたち。  
対馬丸、戦時体制下の沖縄の中等学校、戦時中の沖縄の学徒隊
- ④ 収容所からの学校再開。米国軍政府下の教育制度。  
石川の収容所内の学校開設、ガリ刷り教科書、墨塗り教科書、青空教室等



# 平成20年度

# 寄贈品紹介

沖縄県平和祈念資料館では、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくために、戦争関係の資料や戦前・戦中・戦後の資料の提供を呼びかけています。平成21年2月末現在に寄贈をいただいたのは、43人の方々から226点ありました。これらの資料は、平成21年6月に開催予定の新収蔵品展で一般公開をいたします。一般公開により、さまざまな情報提供につながることも今後

の活用や保存に大きな効果が生れます。

寄贈資料の一部は、次のとおりです。書籍に関しては、当館の情報ライブラリーで閲覧できますのでご利用下さい。当館はこれからも、戦前・戦中・戦後の資料のご寄贈ならびにご寄託の資料の収集事業を継続してまいりますのでご協力下さいようお願いいたします。ご自宅に眠っている資料がありましたら提供下さい。



防空電灯カバー  
我喜屋宗恵 様



安里積千代氏が  
着用した法衣  
大城光代 様



冊子（左：家の光  
右：寫眞週報）  
小川孝一 様



台湾疎開に伴う  
配給中止の通知書  
与那原永嘉 様



米軍が使用した  
弁当箱  
名嘉眞輝義 様

## 平成21年度 沖縄県平和祈念資料館年間行事予定

	企画展	子ども・プロセス企画展	その他
4月		4月20日(月)～5月20日(水) 第1回 子ども・プロセス企画展 「児童・生徒の平和メッセージ秀作展」	
5月			○5月5日(火) 子供の日ビデオ上映会
6月	6月14日(日) ～7月31日(金) 新収蔵品展	6月1日(月)～7月10日(金) 第2回 子ども・プロセス企画展 「沖縄戦と子どもたち」	○慰霊の日 入館料無料・沖縄戦関連ビデオ上映
7月	6月20日(土) ～8月14日(金) 児童生徒の 平和メッセージ展		○夏休み期間中 自由研究相談室
8月		8月1日(土)～9月10日(木) 第3回 子ども・プロセス企画展 「国際理解 核の廃絶を求めて」	○夏休み子供向け企画 8月1、8、15日(土)ビデオ上映会 8月8日(土)親子平和学習会
9月			
10月	10月10日(土)～12月13日(日) 特別企画展 「イクサユームワラビ ～戦時下の教育と子どもたち～」		
11月		11月1日(日)～12月25日(金) 第4回 子ども・プロセス企画展 「世界人権宣言」	○沖縄戦講座
12月			
1月			
2月	1月19日(火)～2月26日(金) 特別企画展【八重山分館移動展】	1月20日(水)～2月28日(日) 第5回 子ども・プロセス企画展 「差別と平等」	○2月18日(木) 資料館講習会
3月			



350万人目  
さいたま市立大宮北高校2年  
市村 奈津美さんと宮城館長

## 入館者350万人目突破!

### 入館者350万人目

開館以来、県内外から多くの皆様が当資料館を訪れています。平成20年10月9日(木)には、平成12年4月の新築移転以降、350万人目のお客様が訪れました。

今後も資料館では、より一層、展示の充実、事業の充実を回り、平和を発信する役目を担っていこうと考えています。皆様のご来館を心からお待ちしています。

コメント：「事前に平和学習を重ねて来たので350万人目は記念になるし、うれしいです。」

### 平成20年度 人権啓発事業

## 第5回人権ラブソングコンテスト グランプリ受賞曲

### 『友情のパズル』

はやしかいおう with ローズマリー  
作詞作曲 はやし かいおう

ぼくらは いつも どんな時も 風を感じて  
夢を信じ ただまっすぐに 駆け抜けてた

ぼくらは いつも どんな時も 光目ざして  
力込めて ただまっすぐに 走り続けた

ぼくの くやしさと 君の 涙は  
輝く 未来の たしかなもの

とでも 悔しくて 逃げたい 時もある  
そんなとき 支えが 力になる

さあ 手を のぼして 仲間を 信じて  
悩みも 迷いも 今は いらない

さあ 手を のぼして 仲間を 信じて  
いくつもの 日々を 超えて 希望へ

さあ 手を のぼして 決してためらわないで  
ぼくらの 手の中に 友情のパズルを

さあ 手を のぼして 決してためらわないで  
走ろう 振り返らず 素晴らしい明日へ

さあ 手を のぼして 決してためらわないで  
ぼくらの 手の中に 友情のパズルを

#### 資料のご提供について

戦後64年が経ち、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、戦前、戦時中、戦後の資料等がますます重要な役割を果たしていくことになります。このような資料をお持ちの方、貴重な思い出の品々かとは存じますが、ご提供をたまわり、今後に活用させていただきますようお願いいたします。

#### ビデオの貸出について

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」全28巻の貸出しと資料館制作の沖縄戦ビデオ「そしてぼくらは生き残った」「やーさん、ひーさん、しからーさん 一集団疎開児童の証言-」のビデオの貸出しを行なっています。

どうぞ、事前学習等でご利用ください。

#### 見学するにあたって学校等への協力願ひ

当館では来館者が安全で快適な見学が出来るよう、以下のことについて、ご協力をお願い致します。

- ほかの来館者の迷惑にならないようマナーを守り静かに見学しましょう。
- 平和学習を効果的に行うために、引率の先生方も児童・生徒とご一緒に見学することをおすすめします。

編集・発行:沖縄県平和折念資料館

住所:〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1 TEL:098-997-3844 FAX:098-997-3947

URL:<http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-MAIL:[webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)